



新成人の未来を祝う

平成29年甲佐町成人式

礎 (いしずえ)



蘭田 征樹さん
〔緑町区〕

本日は、お忙しい中このよ
うな盛大な式典を催してくだ
さって誠にありがとうございます。
20年間、多くの様々な
方々に支えられて、一人の人
間として、これから社会人と
なる身として成長や進歩でき、
この日を迎えられたことに心
から感謝申し上げます。

熊本にとって、2016年
は、重大な一年となりました。
私は取返して深くこのことにつ
いて語りませんが、実際に体
験してみないと分からない
ことは沢山あると学びました。
震災だけでなく、様々な事象
に当ってはまると思いました。
現在私は大学生ですが、そ
こで、様々な出会いがありま
した。大学の講義以外では創
作活動に励んでいます。そ
こで、自分は人生で初めてラ
イバルとも言える方と出会い、
その方と「切磋琢磨」しなが
ら、より良い、言わば「本
物」と呼べる作品を生み出せ
るよう努力を重ねております。
これまで、そして、これか

未来を拓く新成人たちの 大人への門出の晴れ姿

1月8日（日）町生涯学習センターで、平成29年甲佐町成人式が開催されました。

今年の新成人は、平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれが対象で、町内の対象者は107人。式典には、82人が出席しました。

式典では、各地区の新成人代表が新成人全員の氏名を紹介した後、奥名克美町長が「災害に負けることなく、若い力で先導的立場で引っ張っていく青年が多く誕生することを期待します」と式辞。蔵田勇治町教育長が「自分の夢を持ち、その夢に向かって努力し続けてください」と励ましのことばを述べ、緒方哲哉町議会議長と甲佐中学校生徒代表の渡邊光さん（2年・大町区）が祝辞を述べました。

新成人への記念品が宮地昭夫さん（岩下一区）に贈呈され、井手美穂さん（南三箇区）が「交通安全宣言」を宣言。最後に、梅本龍太さん（和田内区）が「大人としての自覚を持ち、自分の行動に自信を持ち、向上心を持って前進していきます」と「誓いの言葉」を述べました。

誓いの言葉を述べる梅本さん



今日は、私たちのためにこのような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。そして20年間、私たちが暖かく見守り、支えてくれた家族や恩師、地域の皆様に心から感謝申し上げます。私は、現在、航空自衛官として国防という任務を遂行するために、日々仕事や訓練に励んでいます。昨年、熊本県が災害に見舞われたとき、この仕事のやりがいを感じました。熊本県、そして甲佐町が、一刻も早く復興できるように、自分にできることを考え、立派な社会人になれるよう頑張ります。



田上 舞花さん
〔上早川一区〕

成人を迎えて

らの経験は、自分が将来へ羽ばたいたときの良い「点」になると思います。その点と点を合わせ、「線」にします。そして、社会の礎になる私の、これまた、大切な「いしずえ」になれば、今まで支えてくださった方への一つの恩返しになると思います。これからも精進します。